

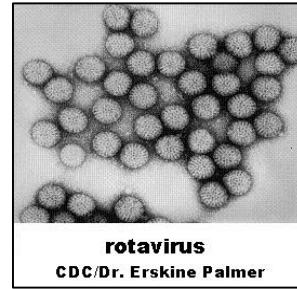
山口県感染症発生週報

(第17週:平成24年4月23日～4月29日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆**結核**: 第14週追加:2例(岩国、山口)。第15週追加:2例(宇部、萩)。第16週追加:1例(下関)。第17週:9例(下関3例、周南1例、防府3例、宇部2例)。



2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ◆**インフルエンザ**: 患者報告数は少なくなりました。迅速検査では、A型陽性16例、B型陽性58例、臨床診断6例で、B型がA型を上回っています。また当所で、第16週の検体についてPCR検査を行った結果、B型が2例検出されています。
- ◆**感染性胃腸炎**: 萩、周南、山口は他地域と比較して多くみられます。萩と周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=萩(2週目)、周南(7週目)】※
- ◆**伝染性紅斑**: 周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(15週目)】※
- ◆**流行性耳下腺炎**: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(21週目)】※
- ◆**細菌性髄膜炎**: 防府から2例報告がありました。年齢は60代と80代で、いずれも肺炎球菌が検出されています。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	15週	16週	17週	疾患名	15週	16週	17週
インフルエンザ	151	132	80	百日咳	3	0	2
RSウイルス感染症	21	18	23	ヘルパンギーナ	4	14	20
咽頭結膜熱	14	21	20	流行性耳下腺炎	38	79	46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	112	91	126	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	599	606	533	流行性角結膜炎	1	0	1
水痘	72	54	69	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	0	0	0	細菌性髄膜炎	0	0	2
伝染性紅斑	28	22	23	マイコプラズマ肺炎	3	6	6
突発性発しん	31	37	32	無菌性髄膜炎	0	1	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	8	17	0	6	1	23	1	1	23	80
RSウイルス感染症	9	9	1	0	0	4	0	0	0	23
咽頭結膜熱	3	6	0	3	0	2	1	4	1	20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	7	5	39	0	38	9	1	3	126
感染性胃腸炎	62	26	20	162	29	79	63	24	68	533
水痘	12	17	5	16	6	6	6	1	0	69
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	18	0	4	0	1	0	23
突発性発しん	7	4	0	9	2	5	5	0	0	32
百日咳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
ヘルパンギーナ	1	0	0	0	0	0	19	0	0	20
流行性耳下腺炎	10	0	4	0	0	2	1	29	0	46
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
マイコプラズマ肺炎	1	3	0	2	0	0	0	0	0	6
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 その他

・ロタウイルスによる胃腸炎の報告は第15週をピークに2週続けて減少していますが、多い状況が続いています。